

農耕の始まりと地域性

①農業と農耕のちがいは

農業 (agriculture) は牧畜を含むが農耕 (farming) は牧畜を含まない。農業は産業全体を指すのに対し農耕は耕作の行為を指す。人類学・考古学では農耕 (と牧畜) という言い方が用いられる。

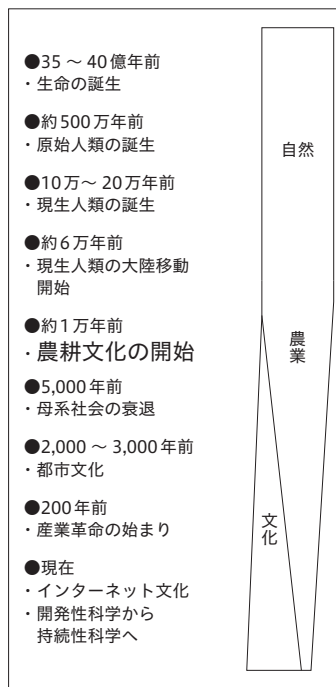


図1 地球上の人類の歩みと文化の変遷

狩猟採集から農耕へ、その理由は？

農耕 (Farming) ①はいつごろから始まったのだろうか。

原始人類 (直立2足歩行のアウストラロピテクス) が生まれたのは約500万年前のこと (図1)。10万~20万年前、アフリカに現生人類 (ホモ・サピエンス) が誕生して、約6万年前から大陸への移動を開始し、地球上に広がった。人類はその間ずっと狩猟と採集で生活を続けていたのだが、農耕を始めたのは約1万年前 (西アジアのムギ、東の中国・長江流域のイネ) だといわれている。

農耕が始まったのは、氷河期 (最終氷期) が終わって、地球上の気候が温暖になり、人類が寒さをしのぎつつ大型哺乳類を追いかけて狩猟した時代から、定住して身の回りで食糧を確保する環境に変化したことにある。

農耕は狩猟、採集に比べてはるかに多くの労働力を必要とする、手間のかかる作業だった。しかし、温暖期になって人口が増え、狩猟、採集生活が限度に近づいたときに、寒の戻り (ヤンガードリアス期) が起こる。森林の木の实が減少するなかで人類は食糧確保のためにやむをえず農耕を開始したともいわれている。

4系統の多元的農耕起源

中尾佐助著「栽培植物と農耕の起源」は、「農耕文化は、地中海から世界に広まった」というヨーロッパ中心の学説に異を唱えたもので、西アフリカ、中東、東南アジア、中南米の4系

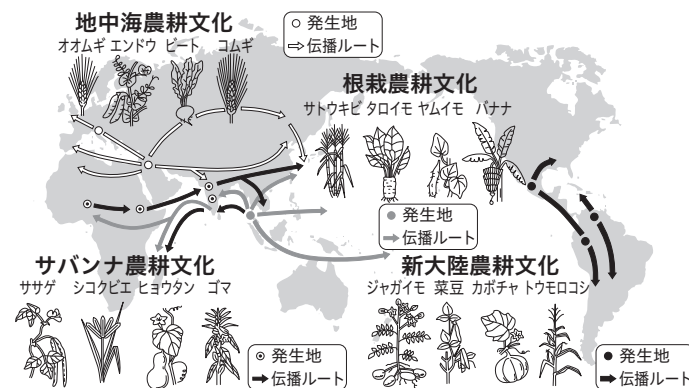


図2 世界のおもな農耕文化の発祥地と伝播経路 (中尾佐助, 1966年)

統が独立して発生したとする多元的農耕起源論である。

4系統の文化圏や栽培作物とその特徴は以下のとおり。

◆**根栽農耕文化** 東南アジアの熱帯雨林地帯が発祥。タロイモやヤマイモが共通の主食となり、サトウキビ、料理用バナナが加わる。いずれも無種子栽培で、根分け、株分け、挿し木など栄養繁殖の栽培様式。豆類、穀物を欠き、油糧作物がない。デンプン、糖質は多いがタンパク質が不足しやすいので漁労で補完していた。家畜としてイヌ、ブタ、ニワトリがいるが日常食ではなかった。料理法としては土器がないため石焼料理が普及し、農具は掘り棒のみの焼畑農耕であった。

◆**サバンナ農耕文化** 西アフリカからインドにかけての乾燥地帯に広がっていた。イネを含む雑穀 (アワ、ヒエなど) が主で、豆類 (ササゲ、アズキなど) もあり、油糧のゴマもある。ウリやナスなど果菜類も栽培された。いずれも夏作物で、芋類がない。米以外は粉食が多く、臼と杵を用いて土器で調理された。

◆**地中海農耕文化** オリентと呼ばれる西アジア (今の中東) が発祥。地中海気候で、冬も寒くなく降雨があり、夏は暑く乾燥。麦類が冬に生育する1年草として自生している。オオムギ、コムギのほか、ライムギ、エンバクなど麦作を中心に、冬作のエンドウ、ソラマメ、根菜類のビート、タマネギ、ダイコンなど。加工には粉挽きの臼、パン焼き炉。畜力による犁の利用で主食が大量生産されるようになる。麦類は乾燥貯蔵がしやすく、富の集積が成立、強大な階層社会と古代帝国を生んだ。

◆**新大陸農耕文化** インカ・アステカなどの大帝国があった「新大陸」中南米は、世界的に重要な作物の原産地である。穀物としてのトウモロコシ、豆類のインゲン、ラッカセイ、果菜類のカボチャ、トマト、トウガラシなどに加え、カリブ海沿岸にはサツマイモ、ポリビア・ペルーの高冷地にはジャガイモがある。これらすべてが北アメリカ・ヨーロッパ、アジアへと伝播し、独自に改良されて定着している。

日本の農耕はどこに属するか

この4系統のうち、日本はどこに属するのかというと、焼畑農耕が今も残り、タロイモの仲間のサトイモが栽培されていることからみても「根栽農耕文化」ということになる。もう少し厳密にいうと、根栽農耕文化が北上したときに気候が熱帯から温帯になったことによって形成された「照葉樹林文化②」に属する。この照葉樹林文化はインド・中国経由などで入ってきたサバンナ農耕文化の影響も受け、ゴマやコンニャクと同時にイネ (陸稲) も伝播した。現在ではこの4系統の栽培作物が地球上の至るところで混ざり合い、「生きている文化財」としてともに分かち合うものとなっている。



図3 サトイモの畑
サトイモは、根栽農耕文化の伝播作物。昭和30年代までは、高知県や熊本県 (五家荘) などでは山間地での焼畑輪作により栽培されていた。
(写真提供: PIXITA)